





まちの話題

うがい茶贈呈式

10月25日、山都町茶振興会から町内の保育園、小・中学校を代表し、さくらんぼ愛園でうがい茶の贈呈式が行われました。風邪やインフルエンザの予防を目的に毎年、無償で贈呈されています。

贈呈式の後にはいただいたお茶で園児たちがうがいをしました。ガラガラうがいを上手に行い、余ったお茶は「にがい」、「あまい」との声が上がりながら園児たちはいただきました。うがい茶はうがい用に加工してあり、渋みが少ないそうで、飲むこともできます。

さくらんぼ愛園では今年もお昼の時間とおやつの時間に毎日2回うがいを行われており、昨年はインフルエンザにかかった園児は1名もいなかったそうです。



矢部中学校野球部が熱戦を繰り広げ優勝

11月5日、12日に第7回上益城郡少年軟式野球選手権大会が本町の中央グラウンドと清和グラウンドで行われました。上益城郡内の中学校野球部6チームが熱戦を繰り広げ、矢部中学校野球部は日頃の練習の成果を発揮し優勝しました。



AC山都から菅尾保育園へ野菜の贈り物

10月4日、AC山都から菅尾保育園へ野菜の贈呈が行われました。 野菜は、キャベツ・なす・みず菜・白ネギ・ピーマン・里芋・ミニトマト・ミディトマトと AC山都の会員である若手農業者が大切につくられたものです。

野菜の贈呈後は、野菜の断面を見せて「この野菜はなんでしょうか」と園児に野菜クイズをしました。AC山都のみなさんが交流を深めました。

北川寿文会長は「今回のような交流を継続的に続けて地域に根ざした活動を続けたい」とお話されました。



中川選手大活躍

10月27日、第36回全日本実業団女子駅伝「クイーンズ駅伝」が宮城県仙台市で行われました。

この大会で、JP日本郵政グループの1区を走った中川京香選手は10月の予選会での活躍もあり注目が集まる中、力強い素晴らしい走りを見せ、4位で2区の選手へタスキを繋ぐ好成績で走りぬきました。総合順位では所属するJP日本郵政グループは見事、優勝しました。



中川京香選手 (左端)

山都町有機農産物フェア2016開催!!

10月23日、山都町の有機農業をたくさんの方に知って もらうことを目的として、山都町有機農業協議会主催の 「山都町有機農産物フェア2016」が道の駅通潤橋前 で開催されました。

当日の天気は、あいにくの雨となりましたが、町内外から多くの方が来場され、ブース販売や田小野太鼓、矢部中学校吹奏楽部、YASKY FARMバンド、通潤橋応援プロジェクトメンバーが出演したステージイベントでは、会場から笑い声が漏れるなど、大いに盛り上がりました。

現会長の坂本幸誠氏は、「有機農業の発祥の地と言 われる山都町をもっとアピールして行きたい」と熱い思い を語られました。



かかしで活気を

11月7日、菅尾コミュニティセンター前に地域のみなさんからのメッセージを持ったかかしや釣りを楽しんでいるかかし、酔いつぶれてベンチに横たわっているかかしなど21体のかかしが展示されていました。

このかかしは、菅尾の福田さんご夫婦の指導の下、大久 保集落の12戸のみなさんで協力し、材料はわらを中心に 腕や足にペットボトルなども利用し、作成されました。

地域のみなさんからは「4年前に菅尾小学校が廃校になり、子どもたちを地域で見かけなくなって寂しい。たくさんのかかしで笑顔になってもらい活気づけることができれば」と話されました。



大久保集落のみなさんでかかしと一緒に

福岡市の岩田屋本店内吉田青果店の一角に山都町コーナーがオープン!!

本町では、平成27年度より、山都町の農産物の認知度を高めることを大きな目的として、山都町農産物ブランド化推進事業に取り組んでいます。

取り組みとしては、町内の生産者、有機農業団体、JA、物産 館、商工会、観光協会、などが一体となり、県内外への販路拡大 及び認知度アップを目指すべく活動を進めています。

その成果が身を結び、10月26日に福岡市の岩田屋本店、吉田 青果店の一角に山都町コーナーがオープンしました。

今後も、山都町農産物の認知度アップ、販路拡大に向け、関係 団体と連携し事業を推進して行きます。



オープン当日の写真。吉田青果店 吉田副社長(右)